



# こんにちは！

日本共産党前福井県議会議員

## さとう正雄 です

2025年12月7日 480号

さとう正雄事務所 0776-26-7400

自宅 福井市光陽1-18-4 090-4329-1375  
「ブログ さとう正雄」発信中

来年1月に突然の県知事選挙・  
県議会議員補欠選挙に  
杉本達治知事がみずから  
のセクハラ行為の責任をと  
ました。報道では、来年1  
月8日告示、25日投票で知  
事選挙がおこなわれる公算  
です。



送検され議員辞職したため、10月の会見も11月の今回  
福井市選挙区に欠員が1名の会見でも頗る事からセクハ  
ラ行為の責任をと生じています。欠員1名を  
補充する県議会議員補欠選  
挙も知事選挙と同時に起こ  
なわれる公算です。

佐藤正雄前県議

コメント

ラ問題での説明責任が果たされることはないまま、知事職を辞し、県政に混乱をもたらす事態となつたことはきわめて重大です。杉本知事は説明責任を果たすべきです。また、県議会も具体的な追及がなく、知事へのチェック機能を果たしていません。野党なきオール



11月22日、「戦争する国づくり反対！福井総がかりアクション」の毎月の宣伝で、佐藤前県議は「高市政権の大軍拡反対、核兵器容認は許せない。政治を変えましょう」と訴えました。  
(写真)

## 辞職表明の杉本知事の「セクハラ疑惑」 佐藤前県議・機敏に「知事は説明責任を果たせ」と申し入れ

10月22日の知事と県の記者会見をうけて、翌日10月23日に中村保博、美央両副知事あてに申し入れた内容です。文書は中村副知事が受け取りました。  
県議会は知事会見後の約1カ月、知事に対してなんら具体的な追及をおこないませんでした。チェック役としての役割が果たせなかつたといえます。

2025年10月23日

福井県副知事 中村保博 様  
福井県副知事 鷲頭美央 様

日本共産党福井県委員会副委員長・前県議会議員 佐藤正雄

### 杉本知事の「セクハラ疑惑」について

昨日、服部総務部長が会見を開き、4月に県職員が「杉本知事から不適切な内容のテキストメッセージを送られた」と相談窓口の法律事務所に通報したらかにしました。県は、通報者と知事に5月、6月に調査をおこない、弁護士3人の特別調査委員による調査がおこなわれている、とのことです。

また、全庁の職員約3500人を対象に、知事からの類似事案の有無についての調査をおこない、調査結果を公表する、としています。

杉本知事は取材に応じて、「県民にご迷惑をかけたことをおわびする」と述べています。そこで以下の点を要望します。

1、 総務部長の説明や知事の説明でも「セクハラ」の内容そのものが「当事者が特定されかねない」「調査委員に答える」などを理由にまったくブラックボックスとされています。これでは県民にはさっぱり理解できません。知事みずからが説明責任を果たす場をもうけるべきです。特別調査委員の弁護士による判断、はもちろん尊重すべきですが、事案の概要と自らの気持ちを明らかにして、県民に対して誠意ある説明をおこなうことは政治家としての責任です。

2、 全庁職員への聞き取り調査などは必要ですが、たとえば「上司、県職員からの聞き取り」などでは答えづらいケースもあるでしょう。職員の回答自体が守られなければなりません。特別調査委員とその補助者だけが開封チェックできる簡易なアンケート調査にして、類似事案がある、との回答者には特別調査委員の弁護士などから直接聞き取りをおこなうようにするなど、職員の「回答の秘密」が守られるやり方でおこなうべきです。

以上

ラ問題での説明責任が果たされることはないまま、知事職を辞し、県政に混乱をもたらす事態となつたことはきわめて重大です。杉本知事は説明責任を果たすべきです。また、県議会も具体的な追及がなく、知事へのチェック機能を果たしていません。野党なきオール

ラ問題での説明責任が果たされることはないまま、知事職を辞し、県政に混乱をもたらす事態となつたことはきわめて重大です。杉本知事は説明責任を果たすべきです。また、県議会も具体的な追及がなく、知事へのチェック機能を果たしていません。野党なきオール

ラ問題での説明責任が果たされることはないまま、知事職を辞し、県政に混乱をもたらす事態となつたことはきわめて重大です。杉本知事は説明責任を果たすべきです。また、県議会も具体的な追及がなく、知事へのチェック機能を果たしていません。野党なきオール

# 原発使用済み核燃料の乾式貯蔵反対、県民説明会を開け

## — 原発反対県民会議などが県議会へ陳情 —



県議会に陳情する佐藤前県議（右から2人目）、  
金元書記長（同3人目）

原発反対県民会議の石地優事務局長らが11月25日、福井県議会に使用済み核燃料の乾式貯蔵反対、県民説明会開催など求め陳情しました。日本共産党から金元幸枝書記長と佐藤正雄前県議が参加しました。堀井純子議会局次長が受け取りました。

佐藤氏が議会からいなくなり、請願としての紹介議員がいません。議員への配布にとどまり、正式に議会審議にかけられなくなっています。県庁

も県議会もしつかり県民の不安や意見に耳を傾ける姿勢が大事ではないで

しょうか。

### 佐藤正雄前県議、街頭宣伝、対話、SNS発信でも奮闘中 応援お願いします！

佐藤前県議は連日のように日本共産党支部や後援会のみなさんらと、福井市内で街頭宣伝をおこなっています。高市総理の「台湾有事」に自衛隊参戦発言撤回を、安保法制廃止を！日本をふたたび戦場にしてはいけない！暮らしと商売守る消費税減税を！大きく手を振っての激励なども増えてきています。日本共産党の宣伝をみかけたら激励をよろしくお願ひします。

また、佐藤前県議は「さとう正雄ブログ」「フェイスブック」「X」などの連日発信にもチャレンジ中です。「イイね」ボタン、LINEやシェアなどでの拡散



（左から）金元書記長、南秀一県委員長、松本坂井市議、佐藤前県議、山田和雄県常任委員



### こぼればなし番外編

前回選挙で落選直後の議会報告ニュースから再録します。「あの悔しさは忘れない」「今度こそ」の思いから。

●●ごあいさつ●●

4月9日投開票の県議会議員選挙で私は次点で議席を失いました。この間、オール与党県政の「対立軸」として、「新幹線の巨額の財政負担と県民が不便になる問題」「日本で唯一の老朽原発再稼働など異常な原発推進県政の問題」「県議会議員と反社会的団体・統一協会の癒着の解明」など取り組んできました。また県民の皆さんとの運動とむすんで、少人数学級や子どもの医療費助成制度の拡充、県立学校女子トイレへの生理用品配置など実現してきました。

「県政にモノ言える議席、県民要求の窓口としてひきつづき頑張って」の期待に応えられず本当に申し訳ありません。

しかしこれからも日本共産党役員として県民要求運動や県政課題への要望活動には取り組んでいきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

★

今期最後の定例県議会閉会本会議。新幹線関連に

300億円余、の一方で特別支援学校給食費の値上げなどの予算案に反対しました。国保税増税へ誘導、恐竜博物館観覧料、子どもまで大幅値上げなどの議案に反対、の討論をおこないました。反対は私だけ、討論も私だけでした。今期も、「討論のある議会」をめざして努力してきました。私の議席がなかったら、「オール賛成」「討論のない議会」となっていましたでしょう。選挙後の今後の議会を県民のみなさんも注視していただきたいと思います。

これまで20年間479号にわたり、県民の皆様に県政の課題などをお伝えしてきたこのお便りは県議会議員の政務活動費によりつくさせていただきましたので、「いったん」これが最終号となります。選挙中に「政治が難しい、と思っている方でもわかりやすいように伝えてくださっています。誠実で謙虚で真面目な議員だと感謝してもしきれません。あなたに県議としてNo1議員のメダルを贈りたいです」とのメールもいただきました。あらためて議員活動を支えていただいたみなさんに感謝申し上げます。

